国立大学法人京都工芸繊維大学
応用生物学系・社会医工学研究センター　共催

第62回　KITライフサイエンスセミナー

私たちはどうやって『習慣』を作り、使うのか？
～マウス研究から紐解く「意思決定」と「行動実行」の脳科学～



演者　浅岡 希美

京都大学大学院医学研究科
システム神経薬理学分野・助教

日時　12月2日 (水) 16:00 – 17:00

会場　京都工芸繊維大学 2号館4階441号室

対象　学生・教職員・一般の方

行動の習慣化は、筋トレや勉強などの労力のかかる行動を「意識せずに続ける」ための有効な方策として注目されています。では、脳はどのようにして行動を習慣に変えるのでしょうか？また、習慣化が成功すれば、最適な行動を続けられるというのは本当なのでしょうか？
無意識に思える習慣も、どう行動するかを選ぶ脳機能（意思決定）の延長にあります。本セミナーでは、意思決定と習慣について、神経科学と心理学の両側面から解説します。さらに、マウスに習慣を作らせる実験から、「意思決定の習慣化」と「習慣の実行」が脳内の異なる神経回路で制御されていることを明らかにした研究成果を紹介し、脳が習慣を作り、使う仕組みに迫ります。

参考文献
Asaoka et al., Nat. Commum., 17(1):6822, 2026

連絡先　国立大学法人 京都工芸繊維大学 応用生物学系
〒606-8585 京都市左京区松ケ崎橋上町 1
Tel: 075-724-7799 e-mail: bio_office@kit.ac.jp

事前登録無用
参加費無料